

ホストタウン推進事業

平成 31 年 1 月 15 日
長野県県民文化部国際課

1 趣旨

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、大会参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体を「ホストタウン」として全国各地に広げる国の「ホストタウン構想」に参画するため、これまでの友好実績を踏まえ、中華人民共和国を相手国に4市（長野市・上田市・須坂市・飯山市）2町（下諏訪町・山ノ内町）とともに共同登録し、交流事業を実施する。

2 県としての基本姿勢

(1) 市町村への支援

自らが相手国を決めて、自主的にホストタウン交流事業を実施する市町村を県は支援

(2) ホストタウン相手国

県は中華人民共和国を相手国してホストタウン交流事業を実施

(3) 共同事業実施

県と一緒に中国とのホストタウン事業を行う意向のある市町村と共同して事業を実施

3 県内のホストタウン登録状況

(1) 県の登録

中国を相手国として、4市（長野市・上田市・須坂市・飯山市）2町（下諏訪町・山ノ内町）とともに共同登録

[経緯]

2016年7月12日	長野県日中友好協会から知事に要望書を提出
9月15日	「第1回ホストタウン長野県実行委員会」の開催
10月26日	内閣府にホストタウン登録申請書を提出
12月9日	第三次登録決定（長野県・上田市・須坂市・飯山市・下諏訪町・山ノ内町）
12月14日	中国国家体育総局と「スポーツ友好交流提携を強化させる覚書」を締結
2017年7月7日	第四次登録決定（長野市を追加登録）

(2) 市町村独自の登録（詳細別紙）

8市2町が11か国を相手国として登録（第十一次登録：平成30年12月28日時点）

	市町村名	相手国
1	佐久市	エストニア
2	駒ヶ根市	ベネズエラ、ネパール
3	安曇野市	オーストリア
4	松川町	コスタリカ
5	伊那市	東ティモール民主共和国
6	東御市	モルドバ共和国
7	長野市	デンマーク
8	立科町	ウガンダ共和国
9	岡谷市	カナダ
10	千曲市	ハンガリー

4 事業内容（中国を相手国とするホストタウン事業）

平成 29 年度より、中国を相手国とする友好交流事業等を「ホストタウン長野県実行委員会」が実施

＜実施主体＞

「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会ホストタウン長野県実行委員会」

＜構成員＞

長野県／長野市／上田市／須坂市／飯山市／下諏訪町／山ノ内町／長野県日中友好協会／（公財）長野県体育協会／（公財）長野県障がい者スポーツ協会／長野県立大学／長野大学／清泉女学院大学等

＜予算・経費負担＞

- ・実行委員会への負担金方式
- ・県が1/2、市町が1/2を負担（市町の負担割合は人口規模による）

【参考：予算額】

〔H29年度〕 958,000円（県479,000円、市町479,000円）

〔H30年度〕 1,080,000円（県540,000円、市町540,000円）

中国を相手国とするホストタウン事業の展開

ホストタウン事業の類型（H27.9.30 ホストタウン推進要綱）

- ① 大会等に参加するために来日する選手等との交流
- ② 大会参加国・地域の関係者との交流
- ③ 日本人オリンピック・パラリンピアンとの交流

上記に伴い行われる取組みであって、スポーツの振興、教育文化の向上及び共生社会の実現を図ろうとするもの

ホストタウン長野県実行委員会の実施事業

- 行政だけでなく、長野県日中友好協会等を中心とした民間交流と連携し、官民を挙げた交流事業を実施
- 日本一の数を誇る公民館*を地域における交流活動の拠点として活用するとともに、ホストタウンの原点となった一校一国運動のノウハウを踏まえた学校交流等長野県の特徴を活かした交流事業を実施
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックで終わることなく、2022年北京冬季オリンピック・パラリンピックまで視野に入れて、交流事業を実施

※長野県内の公民館の数：1520（H27.10.1現在「H27年度社会教育調査」）

【中核事業】・・・実行委員会が直接実施する事業

- ① 地域における友好交流活動の指導者（リーダー）を養成する講座
- ② オリンピアン・パラリンピアン等を招いての講演会・交流会
- ③ パラスポーツの体験講座
- ④ 中国事情・中国文化紹介のための講演会等
- ⑤ 大使館関係者など中国政府関係者による講演会

【自主事業】・・・構成団体が独自に実施する事業

- ① 友好都市間交流
- ② 学校間交流（県国際交流員派遣）
- ③ スポーツ交流・青少年交流（ボート、卓球、スケート、スキー、キャンプ）
- ④ 公民館での中国文化体験講座等（料理・中国語・太極拳等）
- ⑤ ラジオ等を活用した情報発信

※毎年8月をチャイナウィークと定め、集中的に事業を実施

平成30年度ホストタウン事業計画

<平成30年度事業計画>

- 中国の著名な画家である傅益揺(フ・エキヨウ)画伯を講師として招き、中国の優れた文化を紹介いただくともに日本と中国の架け橋として長年にわたり活躍されている自身の経験等を踏まえ、日中友好交流に対する思いや期待などをテーマに講演いただく。
- 日本人オリンピックを講師として招き、2020東京オリンピックに対する思いや期待を伺うとともに、アスリート視点から、海外との交流等に対する助言や提案をいただく。
- 地域の公民館等を拠点に日中友好交流活動のリーダー(指導者)となっただく方を養成する。
- ホストタウンに対する理解と日中友好交流の機運醸成等を促進するため、ホストタウンNAGANOのピンバッジを作成し、趣旨に賛同する方に配布するとともに寄付金を募る。いただいた寄付金については、実行委員会が実施する中核事業や構成団体が実施する自主事業の財源として活用する。

(1) 中核事業の実施

事業	開催時期	概要
ホストタウンNAGANO 「中国文化紹介講座」	30.8.25	・中国の著名な画家である傅益揺(フ・エキヨウ)画伯を講師とする講演会を開催した。 ・画伯の絵を展示するとともに画伯自ら展示作品の解説を行い、参加者との交流を行った。 [会場:JA長野県ビル12階会議室 13:30~15:30]
ホストタウンNAGANO ピンバッジ作成	30.10月	・寄付に対する記念品として活用するため、ホストタウンNAGANOのピンバッジを作成した。
ホストタウンNAGANO 「アスリートトーク」(須坂市)	31.1.26	・日本人オリンピック(塚原直貴氏)を講師とする講演会を開催。 ・ホストタウン活動の紹介 ・講師と参加者との交流を行う。 [会場:須坂市シルキーホール 13:30~15:30]
ホストタウンNAGANO 「指導者養成講座」	31.3月	・地域の公民館等を拠点に日中友好交流活動のリーダー(指導者)となっただく方を養成 ※長野県日中友好協会と調整中

(2) 自主事業(実施例)

実施団体	内容
長野市	Dream Rink Nagano 2018(オリンピックによる小中学生対象のスケート教室)
上田市	街中キャンパス(市内大学に在学中の中国人留学生との交流)
飯山市	深圳市深圳外国語学校(中学生)との友好交流事業
須坂市、山ノ内町、下諏訪町	公民館講座(太極拳・餃子講座等)の実施
須坂市・飯山市・県日中	日中友好交流都市中学生卓球交歓大会(H30.8月)

ホストタウン登録等の概要 (長野県分)

国際課

(1) 一次登録分 (2件) 【H28. 1. 26】

登録団体名	相手国・地域	計画の特色
駒ヶ根市	ベネズエラ ネパール	・市内に「JICA青年海外協力隊訓練所」がある縁から、かねてより交流のあるベネズエラ・ネパールの選手に2020年大会時に訪問してもらう。音楽家を招へいして音楽祭を開催するなど文化交流も実施。
佐久市	エストニア	・エストニア国内の都市と姉妹都市協定を結ぶ国内唯一の都市で、2005年のスペシャルオリンピックス長野大会の際も同国の選手団をホームステイなどで受入れ。こうした縁を活かし、同国の事前合宿を誘致するとともに、子ども同士の相互訪問を開始するなど、交流を深化。

(2) 二次登録分 (1件) 【H28. 6. 14】

安曇野市	オーストリア	・1986年より、オーストリア共和国クラムザツハ町と姉妹都市交流を継続。北信越国民体育大会でも利用されている龍門瀨公園内前川カヌーコースを活用し、オリンピック出場選手等のデモンストラーションや、カヌー教室等を開催することにより、カヌー競技の普及と国際交流を推進する。
------	--------	---

(3) 三次登録分 (2件) 【H28. 12. 9】

長野県・上田市・須坂市・飯山市・下諏訪町・山ノ内町	中国	・県内で中国を相手国としてホストタウン事業を実施する意向のある自治体等で実行委員会を設立し、ホストタウン事業を実施する。 ・これまで、冬季競技を通じて交流を深めてきた中国と、長野県日中友好協会、中国国家体育総局及び大使館の協力を得て、大会後に選手と交流することについて合意、調整を進めている。
松川町	コスタリカ	・JICAの研修先として、コスタリカから多くの研修生を受け入れてきたことから、国際交流事業を計画し、事前合宿の誘致を進める。 ・近日中に、覚書を締結する予定。

(4) 四次登録分 (3件) 【H29. 7. 7】

※登録内容の変更 長野県・上田市・須坂市・飯山市・下諏訪町・山ノ内町(追加)長野市	中国	・県内で中国を相手国としてホストタウン事業を実施する意向のある自治体等で実行委員会を設立し、ホストタウン事業を実施する。 ・これまで、冬季競技を通じて交流を深めてきた中国と、長野県日中友好協会、中国国家体育総局及び大使館の協力を得て、大会後に選手と交流することについて合意、調整を進めている。
伊那市	東ティモール民主共和国	・伊那市出身で伊那市のふるさと大使である北原巖初代東ティモール民主共和国特命全權大使の縁を通じて、これまで東ティモール民主共和国と交流。スポーツボランティア制度を整備するとともに事前合宿の誘致を進める。
東御市	モルドバ共和国	・モルドバ共和国との文化的交流について、平成29年9～10月に覚書を締結を予定。ワインをキーワードとして、市民、選手等との体験交流を進める予定。平成29年10月に東御市関係者がモルドバ共和国を訪問予定。

(5) 六次登録分 (2件) 【H30. 2. 28】

長野市	デンマーク	2018年ワールドカップ東京での競泳事前合宿受入れをきっかけに、2019年世界水泳、2020年東京オリンピック、2021年世界水泳の事前合宿の受入れを行い、選手と当市児童生徒等との交流等を通じてデンマークを応援する機運を高めていく。
立科町	ウガンダ共和国	標高1,500mに位置する信州白樺高原は、中長距離走練習の適地として「ピーナスマラソン大会」を開催し誘客に努めている。これらの市民ランナーとの交流や、当町の児童・生徒等の交流によりウガンダチームを応援する機運と、当地の認知度を高めていく。

(6) 八次登録分 (1件) 【H30. 6. 29】

岡谷市	カナダ	2005年スペンシャルオリンピック冬季世界大会 (本県開催) でのホストタウン事業の実施や、岡谷市役所卓球部の2017年国体・卓球競技男子の部準優勝といった全国有数の選手の選手を抱える独自性を最大限に活かす取組として、誘致を進める卓球カナダ代表チームの事前合宿受入れ等により、市民のカナダを応援する機運を高めていく。
-----	-----	--

(7) 十一次登録分 (1件) 【H30. 12. 28】

千曲市	ハンガリー	<ul style="list-style-type: none"> ・千曲市では、あんず、温泉、大河(千曲川とドナウ川)など、共通項を多く持つハンガリーと27年にわたり交流を継続してきており、2018年11月にハンガリー卓球連盟と事前合宿に係る協定を締結。 ・長年、重ねてきた文化・芸術面の交流にスポーツ交流を加えることで、より多くの側面で、違いを受入れお互いに支えあう広い視野を相互に育て、心の通った交流を目指す。
-----	-------	---